

未知のウイルス 感染症から身を守る



2020年2月、横浜港に停泊中であつたダイアモンド・プリンセス号での複数の感染者の発生を境に、関東圏から始まった新型コロナウイルス感染症は、ヒトが国内を移動することにより、日本全土に拡大するに至りました。

5月24日現在、日本における診断確定例は16,362名、死亡者を808例認めています(厚労省データ)。死亡率は4%前後であり、インフルエンザの0.05%に比較して高いのですが、一方で、感染者数はインフルエンザに比べると低いことが明らかです(2009年の新型インフルエンザの感染者数は1シーズンで200万人を超えました)。

本稿では、ウイルスについての一般的なお話と、今回の新型コロナウイルス感染症の特徴や予防策を紹介させて

佐賀大学医学部附属病院感染制御部 教授

青木洋介

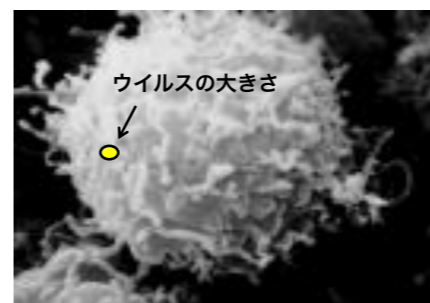


頂きます。

ウイルスとは？

人間に感染症を起こす微生物としては、細菌(バクテリアとも呼ばれます)とウイルス(他の呼び名はありません)が主体です。(図1)をご覧ください。これはヒトのリンパ球の電子顕微鏡写真です。リンパ球は、外来微生物

図1-1 リンパ球の電子顕微鏡写真



1/100 mm

物と戦って体を守ってくれるヒトの白血球の一種で、特に、ウイルスに対応して感染防護能を発揮してくれます。リンパ球の大きさは、1ミリのおよそ1/100程度の直径ですが、ウイルスは更にその数十分の一程度の大きさ(小ささ)です。手に付着しても、ヒトの目で見ることができませんし、感じることも勿論できません。

ウイルスが増殖を繰り返して生き続けるためには、人間の細胞の中に入り込み(感染)、その中で自分のコピーを作ることが必要です。ウイルスが増えているときに、人間には発熱や筋肉痛、あるいは肺炎など、様々な症状が出てきます。



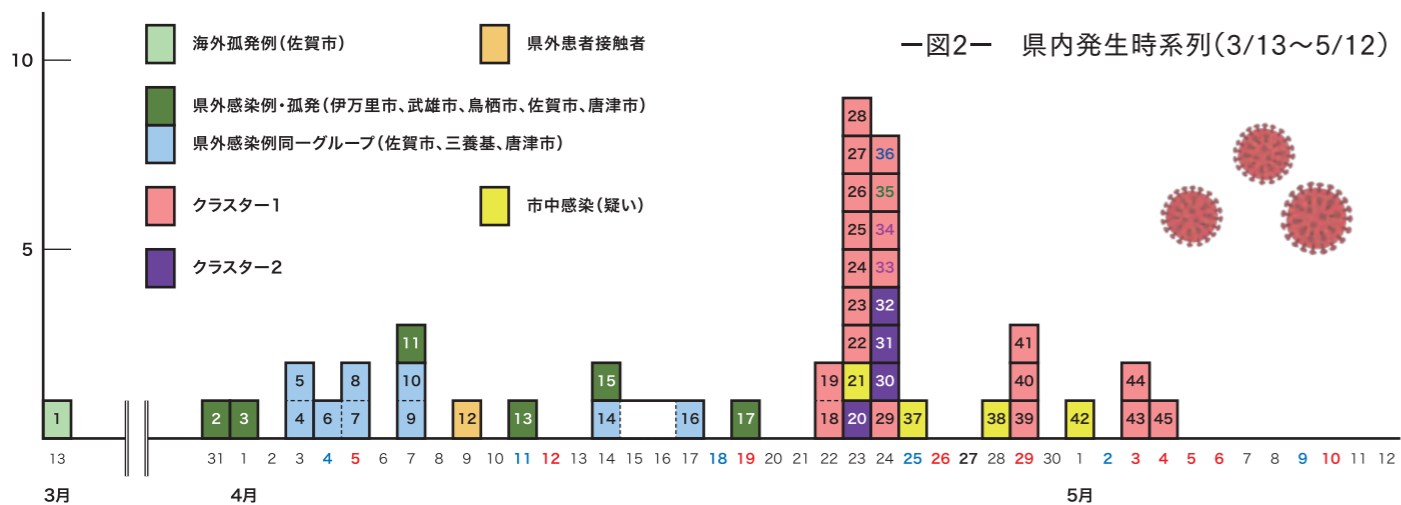
新型コロナウイルス感染症

コロナウイルスは、ヒトに風邪を起こすウイルスとして1960年代に発見されました。冠のような形をしていることからコロナ(冠状)と名前が付いています。本来、風邪の原因の30〜40%を占めます。ヒト、トリ、ブタ、コウモリなどに風邪を起こすコロナウイルスは種特異的ですが、今回の新型コロナウイルスはコウモリに風邪を起こすコロナウイルスと、ヒトのコロナウイルスの遺伝子が交じり合った「新型」だと言われています。異種(ヒトから見ればコウモリは異種です)の風邪を起こすウイルスがヒトに感染すると、一般に症状が重くなります。

2019年12月初旬から、中国の武漢でこの新型コロナウイルスの感染が発生し、通常の風邪では考えられない程の多くの方が亡くなりました。日本でも2019年の暮れ、2020年初頭にかけて、このニュースが報道されましたが、その後、渡航や帰国など、ヒトの動きにより、わが国にも感染が波及したことはご存知の通りです。

佐賀県では、5月の連休明けまで

図2-1 県内発生時系列(3/13~5/12)



に45名の方の感染が確認されました(図2)。しかし、このうち20名は同じ環境で感染が伝播した集団感染(所謂、クラスター)であり、佐賀県内のいたるところで、感染が勃発した状況ではありません。つまり、インフルエンザのように、一旦流行が始まると一気に感染者数が増える現象は認められていません。

予防法について

感染しても無症状の方が少ない割合ながらいらつしやることを考えると、「感染に罹らないためには、見知らぬ人と行き交う社会環境に自分を曝露しない」ということです。これがStay Home(お家にいよう)！の事を指しますが、家の外の空气中に新型コロナウイルスが漂っている、ということはありません。

ウイルスは、感染した患者さんの体内か、または、ウイルスを含むであろう、その方の飛沫(咳やくしゃみで飛散する小さな水滴や泡沫)が付着した環境表面、のいずれかにしか生息していません。従って、公園を散歩する、ジョギングする、等は感染のリスクは非常に低いとお考え頂いて結構です。

自分でできる予防策として、不特定多数の人々が行き交う社会的環境に出るときには①マスクを着用する、②そのような環境から帰宅した際には、30秒〜1分程かけて流水と石ケンで手指をよく洗う、この二つを励行してください。

新型コロナウイルス感染症だからと言って、特別な予防策は不要です(ありません)。風邪に罹らないよう、あるいは、インフルエンザに罹患しないようにするためにも、この二つを遵守して頂ければ結構です。今後、これらの感染症が流行しやすい冬から春にかけては、「三密(密集、密閉、密接)を避ける」のは集団的予防として良い習慣になるかも知れません。ワクチン(予防接種)は現在開発中ですが、仮にワクチンを接種することができるとしても、①と②は励行して頂くことをお勧めします。

日本は世界一清潔な国

日本は諸外国に比較して新型コロナウイルス感染症による死亡者の数が非常に少ないことが特徴的です。検査数は多くないものの、罹患者の数も他国に比べて多くはないと思われれます。表に示しているのは、日本

しい生活の文化とも言えますが、これらの事がウイルス感染に罹患することに抑制的に働いていると考え方もあります。身辺を常に清潔に保つことが、感染症から身を守るためにも効果があるのではないかと思います。



国際日本文化研究センター 磯田道史先生

日本人の清潔な文化的背景・習慣

- ・毎日、清潔な服を着る
- ・毎日、風呂に入り、髪を洗う
- ・上水道の衛生管理が世界一のレベルにある
- ・家の中では靴を脱ぐ(日頃から家屋を清潔に保つ)
- ・キスやハグでなくお辞儀をする(ヒトと一定の距離をとる)

